

列車荷物輸送サービス「はこビュン」

～新幹線荷物輸送（貨客混載）の取組みのご紹介と今後の方向性について～

2024年 9月26日
東日本旅客鉄道株式会社

列車荷物輸送サービス「はこビュン」

～新幹線荷物輸送（貨客混載）の取組みのご紹介と今後の方向性について～

1. 列車荷物輸送サービス「はこビュン」の取組みのご紹介
2. 新幹線荷物輸送「高速・多量輸送トライアル」の実施
3. ビジネス拡大に向けた今後の方向性

1. 列車荷物輸送サービス 「はこビュン」の取組みのご紹介

列車荷物輸送サービス「はこビュン」の取組みのご紹介

- 2021年10月、列車による荷物輸送サービスのサービス名称を「はこビュン」に決定。
新ビジネスとして本格的に展開。
- 荷物のイメージである「箱」と「運ぶ」をかけて「はこ」、そして新幹線や在来線特急列車などでスピーディに「ビュン」とお届けするイメージを、名称とロゴデザインに込めている。

名称「はこビュン」

※「はこビュン」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

<ロゴデザイン>



即日お届け列車便

※【はこビュン】は、地域をつなぐ鉄道によって商品を運ぶことで、産地と消費地を結び地域の魅力発信と地産品の販路拡大を目指す仕組みや物流危機や地球環境問題に取り組む姿勢を評価いただき、当社と㈱ジェイアール東日本物流の共同受賞で「2022年度グッドデザイン・ベスト 100」に選出されました。

<ロゴマークの展開>

○ポスター



○店頭宣伝物

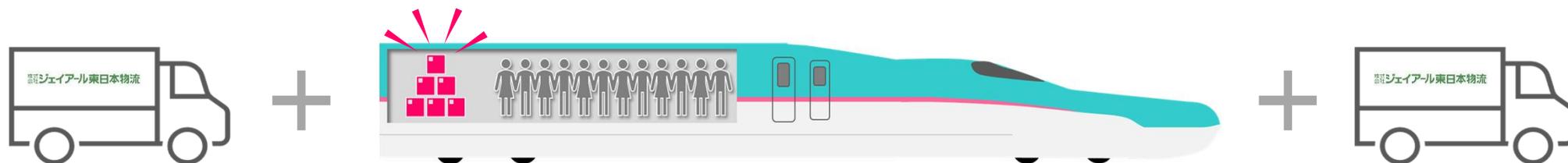


○商品シール



列車荷物輸送サービス「はこビュン」の取組みのご紹介

- グループ会社である(株)ジェイアール東日本物流(以下、JR物流)が貨物利用運送事業者として、「エキナカ」から「エキソト」へも輸送を拡大中。
- 今後も「ヒト」と「モノ」とで地域をつなぎ、当社だからこそできる「地方創生」と「人々の豊かなくらしづくり」を進めていく。



新幹線や在来線特急などの列車とトラック（軽車両）等を組み合わせた当日配送サービスです！

速達性

新幹線が誇る輸送スピードでお荷物を配送するため、スピーディに輸送できる速達性を実現します。

高い定時性と豊富な運行本数

事故率が低く、荒天にも強い

新幹線ならではの**定時・安定輸送**

高度な輸送品質

JR東日本グループがもつ列車運行と荷物輸送のノウハウを最大限に活用した高度な輸送品質をご提供し、お客さまのお荷物を安全に輸送します。

低振動で高水準な輸送を実現

新幹線の乗り心地の良さを実現する

低振動の荷物輸送

新幹線ネットワーク

各地に伸びるJR東日本が運行する鉄道のネットワークを活用し、首都圏と地方を結びます。

環境にやさしい輸送手段

モーダルシフトを担う

高い**環境性**を活かした輸送手段

2. 新幹線荷物輸送 「高速・多量輸送トライアル」の実施

新幹線荷物輸送「高速・多量輸送トライアル」の実施

○社会全体や物流業界が大きな課題に直面している中で、新幹線のメリットを活かした高速・多量輸送の実現が**社会的課題の解決の一助**となりうるか、2023年度4回トライアルを実施。



物流業界の2024年問題



CO2 排出量削減



地方創生

高速・多量輸送トライアルの実施

①

駅構内での
荷扱いの検証

②

新幹線車両基地での
荷扱いの検証

③

回送列車を使用した
荷物輸送の検証

④

他輸送機関と連動した
荷物輸送の検証

① 駅構内での荷扱いの検証

- 駅構内(旅客用乗降ホーム等)を使用して、**安全、迅速な荷役作業が可能か検証**



新潟駅ホーム(積込み)



大宮駅ホーム(荷下ろし)



大宮駅屋上駐車場(積替え)



東京駅ホーム(荷下ろし)

【大宮駅】

- 従来の荷捌き駐車場よりスペースを確保できる
屋上駐車場での荷捌き等のオペレーションを確認

【東京駅】

- 客室輸送専用台車等を活用して、ホーム上の安全
に配慮した効率的な荷扱いを確認 (約200箱)

②新幹線車両基地での荷扱いの検証

- 車両基地を使用することにより、駅ホームでの作業に比べ、**スペースと時間を一定程度確保することで、多量の荷物を安全、迅速に荷扱いが可能か検証**
- 車両基地内の搬送に**AGV(無人搬送車)**、車両基地で使用している**フォークリフト**や**ターレットトラック**等の既存機材を活用し、**運搬の生産性向上を検証**



長野新幹線車両センター(庫内全景)



東京新幹線車両センター(搬送)



長野新幹線車両センター(積み込み)



AGV(無人搬送車)
※協力:協栄産業(株)

③回送列車を使用した荷物輸送の検証

- 積替え作業を極力減らし、台車ごと荷物の積み込み・積み下ろしを可能とするため、旧型台車を改良した「専用台車」を開発し、**新幹線客室搭載と荷扱いの生産性等を検証**



新幹線車内(輸送中)



台車搭載(ホーム上)



運搬(駅構内)※2台連結



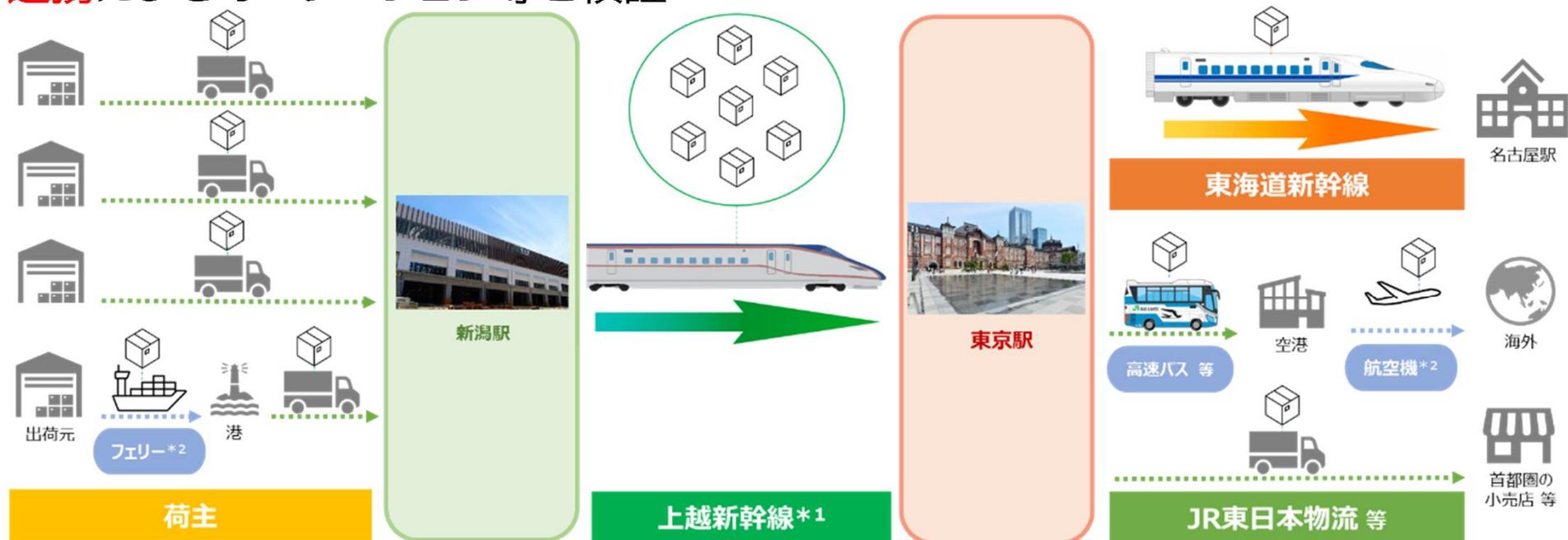
客室輸送専用台車



※参考)旧型台車

④他の輸送機関等と連携した荷物輸送の検証

- 東海道新幹線や高速バスとの**トランジット輸送**や、**海(フェリー)**や**空(航空機)**の便との**連携**によるオペレーション等を検証



*1 一部途中駅でも積み下ろします

*2 フェリー・航空機による輸送は、当社グループのサービス範囲外です

(参考)JR旅客6社共催「新幹線でつながる旬食フェア」開催(2024年5月17、18日 東京駅にて)



新幹線荷物輸送「高速・多量輸送トライアル」の実施

○ 高速・多量輸送トライアルにより、以下の点を確認した。

- ・新幹線車両基地や回送列車の使用で**最大1,000箱程度の荷物輸送が可能**
- ・東京駅や大宮駅ホームでの取り下ろし・屋上駐車場の活用で**首都圏各方面への物流拠点となり得る**
- ・**航空機と連動して海外への輸送を担うことが可能**

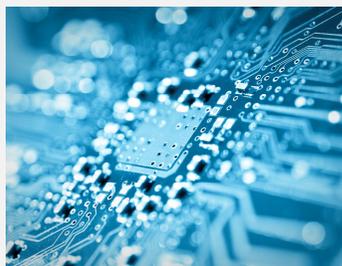
	第1回 (東北新幹線)	第2回 (上越新幹線)	第3回 (北陸新幹線)	第4回 (上越新幹線+東海道新幹線)
日程	2023年6月16日(金)	2023年8月31日(木)	2023年9月28日(木)	2024年3月8日(木)
区間	盛岡新幹線車両センター 青森派出所 → 大宮駅	(上り) 新潟新幹線車両センター → 東京新幹線車両センター (下り) 東京新幹線車両センター → 新潟駅	長野新幹線車両センター → 東京駅 → 東京新幹線車両センター	新潟駅 → 東京駅 (高崎駅ほか途中駅での 積み下ろしを実施)
列車	貨客混載 ※新青森・大宮間 臨時(営業)列車	荷物専用(回送列車)	荷物専用(回送列車)	荷物専用(回送列車)
荷量等	約600箱(3両使用)	約900箱 (上り4両、下り1両使用)	約700箱(5両使用)	約350箱(3両使用)
荷主	7社	10社	12社	12社
輸送・販売先	駅構内・首都圏近郊店舗	(上り) 駅構内・首都圏近郊店舗等 (下り) 駅構内・配送拠点	駅構内・首都圏近郊店舗等	駅構内・首都圏近郊店舗等 + 名古屋駅構内店舗 + 海外(台湾)へ輸送

3. ビジネス拡大に向けた今後の方向性

ビジネス拡大に向けた今後の方向性

- 既存の「はこビュン」は、引き続き在来線を含め着実にビジネス拡大を進めていく
- 新幹線荷物輸送では、トライアル結果を踏まえ、**新幹線高速・多量輸送の事業化に向けた検討を加速**していく

非食品の取扱い拡大



緊急輸送サービスの拡大



在来線特急での輸送拡大



新幹線高速・多量輸送の事業化

新幹線営業列車客室を使用した輸送事業化検証

- ・回送列車
- ・新幹線車両基地
の活用によるさらなる多量輸送事業化検討

ビジネス拡大に向けた今後の方向性

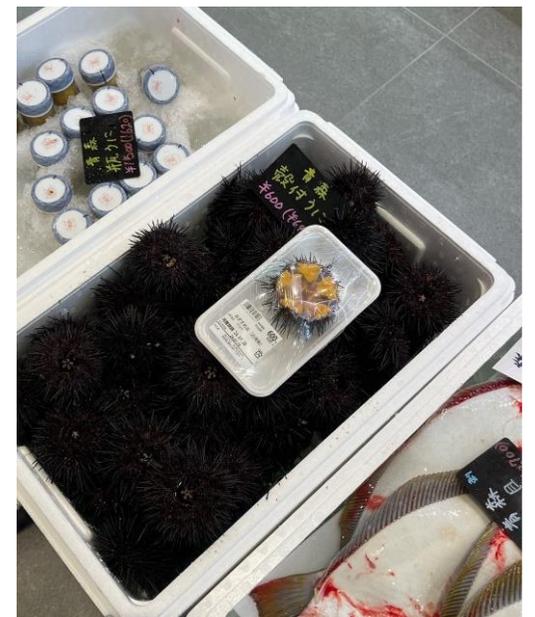
- トライアルの結果、一定のニーズが見込まれる「**新青森・東京**」間にて、2024年7月より2~3回/月程度、**新幹線営業列車客室を使用した輸送の事業化検証**を行っている。
- さらなるニーズの深掘りと課題抽出等を積み重ね、2025年度中の事業化を目指す。



鮮魚等の運搬・積込



引越し家財の運搬・輸送



鮮魚等の販売(首都圏近郊小売店舗)



即日お届け列車便